

笑顔輝く子どもたちのために

学校長 緒方 礼子



「私もここの卒業生なんです」

私が由井第一小学校にこの四月に赴任してから、様々な教育活動の折にこのように声をかけられることが多くありました。この地域に住まい、ご自身も、そしてお子さんやお孫さんもこの学校に通っているというお話を聞くにつれ、由井第一小学校が地域の皆様と共に長い歴史を刻んできたことをうかがい知ることが出来ます。安全ボランティアであったり、放課後子ども教室の見守りであったりと、由井一小を卒業し、再び由井一小のために力を貸してくださる地域の方が大変多いことに驚かされます。

そこで、今年度の創立百五十周年記念の取組として、地域の皆様との交流を通じた地域学習を位置付けて取り組んでまいりました。一年生は「昔遊び」を題材に、地域の方からけん玉やお手玉などを教えていただきました。また、三年生は学校運営協議会の会長の小俣 信次様より、学校の歴史や小俣さんが小学生だった頃のお話を伺い、報告文にまとめました。さらに五年生は地域の方から寄せられた地域や学校の昔の写真をもとに、その変遷を年表にまとめるなど、一年間、地域の方のご協力を得ながら学習を進めてまいりました。この地域学習を通して、学校や地域の歴史や伝統を改めて見つめなおすとともに、百五十年前から変わらない笑顔あふれる子どもたちが、今日まで地域の皆様に見守られすくすくと育っている姿に触れていただけたのではないかと思います。

♪ 明るい心 笑顔満点 みんな輝く 歌声が響く

たくさん学び たくさん笑う 八王子 由井第一小学校 ♪

六年生が音楽家の平井 李枝先生と作り上げた愛唱歌にもあるよう、これからもずっと、子どもたちが輝ける学校であり続けられるよう、力を尽くしてまいります。

祝創立百五十周年

学校運営協議会会長 小俣 信次



由井第一小学校創立百五十周年おめでとうございます。北野天神境内に生まれた本校は勉学の神様のもとに誕生した由緒ある生い立ちであることに誇りを感じます。現在の本校は二回の引越を経てこの地にやってきました。現在の場所に新たに鉄筋校舎がたてられたのが六十三年前。当時最先端の設計

思想（廊下配置を最低限として高度成長期の人口増加を見据え床面積を最小としたい設計）で新たに建造されたバッテリー式鉄筋校舎でした。後にやはり廊下は必要ということになり、ベランダを拡充したために現在は南側に廊下という配置になっているわけです。最初の引越し先（現在の児童館、北野事務所が学校敷地であった）にあった総二階建ての木造校舎とモルタル校舎に車輪をつけて現在の場所まで線路を引いて運ばれたという歴史もあります。その後も児童が増え続け、プレハブ校舎も建造されて児童数千五百人を超える都内随一のマンモス校でありました。多くの校舎、児童数のために校庭が狭く、休み時間のボール遊びの場所取りの面積に制限があったことが思い出されます。

さて、各学年の先生方は、お忙しい中でも地域とのふれあいを含めて創立記念年にふさわしい、本校の歴史を児童に理解させるべく工夫をこらした授業展開を実現いただいてとても感激しています。子どもたちはこの歴史ある母校を持てたことを誇りに感じることでしょう。教職員の方々のご尽力に最大限の感謝を感じております。今後もこの地域にあったレンガ工場で生産された赤レンガ門、地域の協力で掘られ、維持されてきた井戸からの清流が流れる田んぼ、じゃぶじゃぶ池等も含め、本校の歴史が語り継がれていつて頂ければこの上ない喜びです。